

被災地の自然を 復旧・復元する ために



東日本大震災復興プロジェクト サクラの植樹

甚大な被害をもたらした東日本大震災の復興支援をはじめ、大規模な地震や火災、台風など自然災害の被災地を復旧・復元するための活動を行っています。

東日本大震災復興支援

東日本大震災復興プロジェクト

2011年6月よりセブン-イレブン加盟店、本部社員をはじめ、セブン&アイ・ホールディングスグループ社員による東日本大震災復興ボランティア活動を実施しています。



牡蠣の耳吊り

2011年には宮城県気仙沼市「九九鳴き浜」の海岸清掃、2012年からは気仙沼市唐桑町の漁業支援と、大崎市鳴子温泉で健全な森づくりを目指した「宮城セブンの森」を行い、「森も海も蘇る活動」を実施しています。

自然災害復興活動

支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり

2004年9月の台風18号により支笏湖周辺の国有林7,000haが根こそぎ倒れるという甚大な被害が発生しました。セブン-イレブン記念財団は、北海道森林管理



夏の下刈り

局・石狩森林管理署と森林再生の協定を締結し、2006年に北海道の市民による100haに10万本の植樹「森の育て親の活動」を実施。2009年からは、「NPO法人支笏湖復興の森づくりの会」を支援するとともに、「支笏湖セブンの森」づくりを継続して行っています。

東北に緑を! セブン-イレブンプロジェクト

被災地の子どもたちに元気になってもらうことを目的に、2012年3月から県の教育庁の協力を得て岩手県・宮城県・福島県の津波の影響を受けた小学校に、



岩手県大船渡市立越喜来小学校

春・夏・秋・冬の年2回、花苗などをお届けし、児童の植花活動を支援しています。

2012年～2017年 延べ1,967校 花苗1,007,075個

義援金募金活動

大規模な地震や火災、台風などの深刻な被害が予想される広域災害発生の際は、セブン-イレブン店頭には設置されている募金箱のステッカーを貼り替え、義援金募金活動を行っています。お客様からのご厚意は、心を込めて被災地へお届けしています。



義援活動 (1994年8月～2018年2月)
 総額 47億5245万2163円
 ※義援金47億4535万2163円と見舞金・物品710万円を含む
 2018年3月6日現在